

令和2年2月 区政会議（各部会）資料

令和2年度 旭区関連予算（案）概要

【1 予算編成にかかる考え方・全体予算の概要など】

旭区では、「旭区将来ビジョン 2022」において、「安心して住み続けられるあたたかいまち旭区」を区の将来像として掲げ、その実現に向けて「安心して子育てできるまち」「やさしさあふれるまち」「活力あるまち」「安全に暮らせるまち」を優先すべき取組の4つの柱として、平成30年度から5年計画で取組を進めている。

計画の3年目となる令和2年度については、上記4つの柱に基づき、子育て・教育環境の一層の充実、区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の展開、地域コミュニティの活性化とまちの魅力の創出、地域防災力・地域防犯力の強化に重点を置くとともに、ニア・イズ・ベターを徹底することで、必要な事業への積極的な投資を実現すべく、以下の観点から予算編成を行った。

- ・子育て支援の更なる充実と全ての子どもが希望を持ってたくましく生きる力を身につけるための取組強化
- ・「人生百年時代」を健康にいきいきと暮らすための取組の推進と住み慣れた地域で安心して住み続けられるセーフティネットとしての福祉等施策の展開
- ・地域コミュニティ活性化のための取組推進とまちの魅力創出や地域経済活性化に向けた取組強化
- ・地域や関係機関等との連携による防災体制の充実・強化と効果的な防犯・交通安全の取組推進
- ・防災拠点になる区役所庁舎及び附設会館（区民センター）の機能維持・設備充実

【2 区長（区CM）が関与する予算額】

旭区関連予算	1,021,684千円
区長自由経費	320,547千円
区CM自由経費	701,137千円

【3 重点的に取り組む事業】

事業名	予算額	概要・工夫点
新 あさひ子育て見守り事業【区長】 担当 保健・子育て支援 担当課長 小山 06-6957-9912	8,841 千円	【概要】 ・ 重大な児童虐待ゼロの実現に向け、「あさひキッズコーディネーター」を配置し、旭区要保護児童対策地域協議会（以下「要対協」という。）に登録されている要保護児童のうち、登録後の状況把握が困難な家庭などに対し、アウトリーチを基本とした家庭への支援を実施する。 【工夫点】 ・ 「あさひキッズコーディネーター」が要対協の実務者会議に参加し、タイムリーに要対協の決定方針に従った活動を行うことで、要対協に登録されている家庭をもれなく的確に支援する。
拡 子育て安全ネット【区長】 担当 保健・子育て支援 担当課長 小山 06-6957-9912	6,824 千円	【概要】 ・ 地区担当保健師が妊娠期から継続的にサポートする「大阪市版ネウボラ」を核として、子育て・親育てに関する講座の開催など子育て家庭支援を展開する。また、旭区独自の事業として7年目を迎える「あさひ子育て安心ネットワーク」「あさひキッズカード」の取組強化を図る。 【工夫点】 ・ 「あさひ子育て安心ネットワーク」をベースとして、新規事業である「あさひ子育て見守り事業」「大阪市こどもサポートネット」との有機的連携により、中学卒業までのこどもの安全を見守る体制を構築する。
拡 あさひ学び舎事業【区長】 担当 生活支援担当課長 出口 06-6957-9863	5,604 千円	【概要】 ・ 様々な家庭要因により学習・生活習慣が十分身に付いていない中学生に学習支援やコミュニケーショントレーニング等を行うことで、高等学校等進学につなげる。また、高等学校等進学後においても学習支援や相談対応、居場所づくりなどを行い、中途退学防止に取り組む。 【工夫点】 ・ 新たに土曜日についても学習支援や相談対応を行うなど、より参加しやすい環境を整える。「中・高生自立育み事業」との連携により、自らの人生を力強く生き抜く力（学力や精神力など）を育成する。
新 国産木材活用コミュニティ活性化事業【区長】 担当 市民協働課長 前田 06-6957-9713	4,823 千円	【概要】 ・ 旭図書館及び芸術創造館との合築である旭区民センターの共用部において、国産木材を活用したベンチ等を配置することで、ぬくもりのあるイベント・交流スペースとして整備し、文化的コミュニティの育成・活性化につなげる。 【工夫点】 ・ 国内の森林整備につながるパネル展示のほか、区民まつり等で国産木材普及啓発イベントを実施することとあわせて、森林環境譲与税活用事業として実施する。
拡 防犯対策事業【区長】 担当 防災安全担当課長 山本 06-6957-9006	3,619 千円	【概要】 ・ 平成31年2月に旭警察署及び旭消防署と締結した協定に基づき、三者が連携協力・分担して、防犯にかかる啓発や対策を強化し、旭区の安全・安心のまちづくりを共同で推進する。 【工夫点】 ・ 街頭犯罪の抑止及び犯人特定に資する防犯カメラについて、警察との協議で設置場所の検討を重ねた結果、防犯・交通安全の観点から、最優先で設置すべき場所として城北運河遊歩道を選定した。今後3年計画で必要数を配備し、防犯環境の整備を行う。